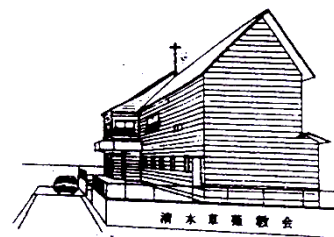


≪今朝の聖書から≫先週の続きです。3回目に主に
 出会った弟子たちは、トマスが経験したように、主を信ずる者
 たちに変えられていました。主イエスは、実にこの弟子たちを
 残されたのです。他には何物をもこの地上に残されませんでした。
 以前にもみましたが、亡骸さえ、当然残されませんでした。
 弟子たちの魂に教えを残されたのです。それは教会の基となる
 ためでした。イエス様はそのように期待をされたのです。特定
 の弟子たちに期待をされました。ペテロに“ヨハネの子シモン
 よ、私を愛するか”と三度もきかれます。質問された方のシモン
 は、ペテロ（自分）が三度も“イエスなどは私は知らない”
 と言ったことを思い出したかもしれません。三度も確認の質問
 をされたのち、“私の羊を飼いなさい”と命令をされます。命
 令ですが、これは期待でもあり委ねられることも意味していま
 す。誰でもそうですが、大切なことは、もっともそれに相応し
 い人に委ねます。また期待をします。私たちは、何かを期待さ
 れている、任されている、ということが確認できたなら、本当
 に恵まれているということ、まず思い出すべきなのです。反対
 に“誰にも、何も期待されていない”と自分のことが思えた
 時、恵まれているとは言えないのです。教会もまた、神様に期
 待されていますから、絶えることなく、私たちを迎えているの
 です。18節以降、期待された者たちに、“備え”をするように
 呼びかけられます。私たちは元気な時には“自分のすることは
 自由に決める”と思っています。聖書に若い時とあるのは年齢
 のことではなく“自分でできる時”という意味です。体が弱く
 なったらそれができないのです。19節で“栄光ある死にかた”
 について語られています。神様から力を頂き続ける生涯が、そ
 の答えでしょう。学べる時に学ぶ、聖書が読めるときに読む、
 若い時にそのような備えをしたいものです。弱くなった時には
 困難なことが沢山できるからです。教会の建設を彼らに託され
 たイエス様は、やがて彼らに御霊をもって臨まれるのです。21
 節でペテロが“この人はどうなのですか”と質問しているのは、
 ヨハネのことだと考えるとよく分かります。“この人たちより
 も”というのは、比較の問題ではなく“ひたすら”ということ
 でしょう。弟子たちの中でいちばん、という意味でとらえては
 いけないと、仰っているのです。ただ“あなたはどうか”
 と問いかけておられるのでしょうか。ヨハネについての話は、23
 節で、イエス様ならこう語られるでしょうと、ヨハネによって
 証されています。

週報

2008年 4月 13日



伝えよう 救い主を
 迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル公会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

T 424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

牧師 村上定幸